

I 教育委員会の活動についての点検・評価

1 平成23年度教育委員会活動一覧

		内 容 等
教育委員会議	定例会	12回（毎月1回）
	臨時会	4回（4月、10月、1月、2月）
事務連絡調整会議		19回（定例会開催後及び適宜）
意見交換会・懇談会	PTA役員	2回（7月、11月）大磯町立学校PTA連絡協議会役員との懇談会
	地域住民保護者	8回 大磯中学校「地域ふれあいの集い」（9月10日） 国府中学校「地域フォーラム」（8月27日、28日、9月3日、10日） 国府小学校「地区懇談会」（9月2日、5会場）
訪問	幼稚園 保育園	3回（7月、9月、2月）
	学校	5回（5月、6月、10月、11月、1月）
	行事等	運動会、体育祭、文化祭、授業（保育）参観、生涯学習関係事業、研究所関係事業、その他町の行事等
その他の活動		神奈川県市町村教育委員会連合会研修会

2 項目別活動状況

(1)教育委員会議

平成23年度第1回臨時会〔平成23年4月1日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第1号	大磯町教育委員会教育長の選任について

平成23年度第1回定例会〔平成23年4月20日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第2号	大磯町社会教育委員の委嘱について
協議事項	協議事項第1号	第二次子ども読書活動推進計画(案)について
報告事項	報告事項第1号	平成22年度大磯町立中学校の生徒進路状況について
	報告事項第2号	平成23年度学級編制及び教職員の配置状況について
	報告事項第3号	国府中学校グラウンド改修工事について
	報告事項第4号	学校プールの整備について
	報告事項第5号	大磯町郷土資料館展示リニューアル基本設計委託報告書について
	報告事項第6号	大磯町青少年指導員の委嘱について

平成23年度第2回定例会〔平成23年5月18日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第3号	平成24年度大磯町立小・中学校で使用する教科用図書の採択方針について
	議案第4号	第二次大磯町子ども読書活動推進計画について
協議事項	協議事項第1号	大磯町立幼稚園の定員の見直しについて
報告事項	報告事項第1号	おはなしボランティア講座の実施について
	報告事項第2号	大磯町スポーツ振興審議会委員の任命について

平成23年度第3回定例会〔平成23年6月15日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第5号	大磯町立幼稚園の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
報告事項	報告事項第1号	平成23年大磯町議会6月定例会について
	報告事項第2号	私立幼稚園の誘致について
	報告事項第3号	大磯町文化財専門委員の委嘱について
	報告事項第4号	大磯町立図書館本館窓口等業務委託に係る検証結果について

平成23年度第4回定例会〔平成23年7月20日開催〕

事項	番号	案件名
請願審議	請願第1号	中学校公民教科書採択に関する請願(その3)
	請願第2号	望ましい歴史教科書の採択を求める請願書
	請願第3号	中学校公民教科書採択に関する請願(その4)
付議事項	議案第6号	大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について
	議案第7号	大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について
報告事項	報告事項第1号	中学校給食の検討について
	報告事項第2号	小磯幼稚園民間幼稚園誘致に伴う土地及び建物の契約等について
	報告事項第3号	旧木下家別邸(大磯駅前洋館)の国登録有形文化財建造物登録に係る意見の具申について
	報告事項第4号	図書館協議会からの図書館サービス計画に係る答申について

報告事項	報告事項第5号	学習参考資料展「みんなで調べた今夏の大磯町の花」の開催について
------	---------	---------------------------------

平成23年度第5回定例会〔平成23年8月17日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第8号	平23年9月補正予算における教育委員会予算要求について
協議事項	協議事項第1号	平成23年度大磯町教育委員会の点検・評価(案)について
報告事項	報告事項第1号	平成22年度教育委員会所管決算見込みについて
	報告事項第2号	学校プールの整備について

平成23年度第6回定例会〔平成23年9月28日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第9号	平成23年度大磯町教育委員会の点検・評価について
	議案第10号	大磯町社会教育委員の委嘱について
協議事項	協議事項第1号	小磯幼稚園民間幼稚園誘致に伴う合意事項覚書(案)について
報告事項	報告事項第1号	中学校部活動の夏の大会結果について
	報告事項第2号	平成22年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果について
	報告事項第3号	子ども手当について
	報告事項第4号	第58回おおいそ文化祭の開催について
	報告事項第5号	学習参考資料展「みんなで調べた今夏の大磯町の花」の実施報告について
	報告事項第6号	大磯町郷土資料館の臨時休館について

平成23年度第2回臨時会〔平成23年10月1日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第11号	大磯町教育委員会委員長の選挙について
	議案第12号	大磯町教育委員会委員長職務代理者の指定について

平成23年度第7回定例会〔平成23年10月19日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第13号	平成23年10月補正予算における教育委員会予算要求について
協議事項	報告事項第1号	大磯町議会9月定例会について
	報告事項第2号	第10回図書館まつりの開催について
	報告事項第3号	秋季企画展「澤田美喜一人生はどんな色にでも塗り替えられるキャンバス」の開催について
	報告事項第4号	スポーツ基本法の施行に伴う変更点について

平成23年度第8回定例会〔平成23年11月16日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第14号	平成23年12月補正予算における教育委員会予算要求について
	議案第15号	大磯町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について
協議事項	協議事項第1号	平成24年度教育委員会当初予算要求に係る協議について
報告事項	報告事項第1号	平成23年第3回大磯町議会臨時会について
	報告事項第2号	子ども議会について

報告事項	報告事項第3号	町立幼稚園の応募状況について
	報告事項第4号	小磯幼稚園民間幼稚園誘致に伴う合意事項覚書について
	報告事項第5号	第58回おおいそ文化祭の実施報告について

平成23年度第9回定例会〔平成23年12月21日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第16号	学校教育法施行細則の一部を改正する細則について
報告事項	報告事項第1号	平成23年大磯町議会12月定例会について
	報告事項第2号	旧吉田茂邸の再建について
	報告事項第3号	平成23年度大磯町成人式及び新成人記念のつどいの開催について
	報告事項第4号	「旧木下家別邸」の国登録有形文化財(建造物)への文化審議会答申について
	報告事項第5号	図書館まつりの実施報告について
	報告事項第6号	大磯町立図書館国府分館自習スペース・昼食スペース設置について
	報告事項第7号	秋季企画展「澤田美喜—人生はどんな色にでも塗り替えられるキャンパス—」の実績報告について
報告事項第8号	ミニ企画展「古文書あれこれ—収蔵資料の紹介—」の開催について	

平成23年度第3回臨時会〔平成24年1月5日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第17号	教育委員会事務局職人の人事異動について

平成23年度第10回定例会〔平成24年1月18日開催〕

事項	番号	案件名
請願審議	請願第4号	公立学校の教育方針の基本に生徒児童の基本的人権回復への厳密な配慮を求める請願について
報告事項	報告事項第1号	サンキッズ大磯の改築工事について
	報告事項第2号	平成23年度大磯町成人式及び新成人記念のつどいの実施報告について

平成23年度第4回臨時会〔平成24年2月2日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第18号	平成24年度当初予算における教育委員会予算要求について
	議案第19号	平成24年3月補正予算における教育委員会予算要求について
	議案第20号	大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例等の一部を改正する等の条例について

平成23年度第11回定例会〔平成24年2月15日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第21号	大磯町立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について
	議案第22号	大磯町教育委員会表彰規程に基づく被表彰者の決定について
	議案第23号	平成23年度大磯町立幼稚園における学年末休業も変更について
	議案第24号	平成24年度大磯町立幼稚園における休業日の変更について
協議事項	協議事項第1号	平成24年度教育委員会基本方針について
	協議事項第2号	大磯町立幼稚園の管理運営に関する規則の休業日の変更について
報告事項	報告事項第1号	大磯町立小・中学校・幼稚園臨時休業等の状況について
	報告事項第2号	あいさつ標語の審査結果について
	報告事項第3号	春季企画展「春を彩る雛人形展」の開催について
	報告事項第4号	ミニ企画展「古文書あれこれ—収蔵資料の紹介—」の実施報告について

平成23年度第12回定例会〔平成24年3月23日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第25号	県費負担教職員の任免に係る内申について
	議案第26号	教育委員会事務局職員及び教育施設等の職員の人事異動について
	議案第27号	平成24年度教育委員会基本方針について
	議案第28号	大磯町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
	議案第29号	大磯町立幼稚園の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
	議案第30号	大磯町立図書館協議会規則の一部を改正する規則について
報告事項	報告事項第1号	大磯町立学校・幼稚園における地震対策マニュアルについて
	報告事項第2号	平成24年大磯町議会3月定例会について
	報告事項第3号	大磯町青少年指導員の委嘱について
	報告事項第4号	平成24年度図書館蔵書点検のための休館について
	報告事項第5号	国府小学校学校プールの施設開放に関する運用について

(2) 事務連絡調整会議

月 日	内 容
4月20日 第1回 事務連絡調整会議	1 生沢分校教職員配置に関する要望書について 2 教育委員会定例会・学校訪問日程について
5月18日 第2回 事務連絡調整会議	1 たかとり幼稚園の修繕状況について 2 小・中学校授業参観・中学校運動会・体育祭予定について 3 生沢分校教職員配置について 4 磯P連と教育委員の懇談会について 5 点検・評価について 6 駅前洋館の国登録文化財について 7 生涯学習館の活用について
6月15日 第3回 事務連絡調整会議	1 図書館サービス計画について 2 幼稚園民営化について 3 郷土資料館ミニ企画展について 4 点検・評価について 5 卓話集会について
6月20日 第4回 事務連絡調整会議	1 教科用図書採択関係勉強会
7月1日 第5回 事務連絡調整会議	1 教科用図書採択関係勉強会
7月6日 第6回 事務連絡調整会議	1 教科用図書採択関係勉強会
7月20日 第7回 事務連絡調整会議	1 点検評価について 2 磯P連と教育委員の懇談会について 3 各校の地区懇談会予定について 4 社会科副読本の改訂について 5 放射線講演会について
8月17日 第8回 事務連絡調整会議	1 小磯幼稚園民営化運営委員会について 2 生徒指導について 3 子ども手当について 4 町の行事報告、小学校運動会予定について
9月28日 第9回 事務連絡調整会議	1 国府中学校グラウンド整備について 2 台風の被害状況について 3 自治基本条例講演会について 4 充て指導主事について 5 臨時会について 6 町村教育長連合会研修会について 7 国府小学校プール建設について

月 日	内 容
10月1日 第10回 事務連絡調整会議	1 中学校文化祭、大磯町小・中音楽会、子ども作品展について 2 国府小学校プール建設について 3 国府小学校トイレ改修について
10月19日 第11回 事務連絡調整会議	1 生沢分校教職員配置に関する要望書について 2 図書館の窓口等の業務委託について 3 小磯幼稚園の民営化について 4 子ども議会について 5 成人式について 6 国府小学校プール建設について 7 国府中学校吹奏楽部受賞について 8 学校行事の予定について
11月4日 第12回 事務連絡調整会議	1 予算関係勉強会
11月16日 第13回 事務連絡調整会議	1 中学校給食に関する検討について 2 大磯中学校訪問について 3 学校行事の予定について
12月21日 第14回 事務連絡調整会議	1 教育委員会基本方針について 2 英文朗読大会について 3 文化財消防訓練について 4 あいさつ標語の募集について 5 こいそ幼稚園入園受付について 6 就学時健康診断について 7 充て指導主事について 8 サンキッズ大磯改築工事について
1月9日 第15回 事務連絡調整会議	1 人事関係勉強会 2 就学時健康診断について
1月18日 第16回 事務連絡調整会議	1 青少年指導員について 2 生涯学習推進計画について 3 補正予算及び平成24年度当初予算関係について 4 機構改革について 5 教育委員会基本方針について 6 人事について
1月31日 第17回 事務連絡調整会議	1 教育委員会基本方針検討勉強会
2月15日 第18回 事務連絡調整会議	1 卒業式、卒園式、文化スポーツ表彰式について 2 あいさつ標語審査結果について 3 平成24年度学校訪問計画について 3 人事について
3月23日 第19回 事務連絡調整会議	1 平成24年度学級編制について 2 教頭候補者選考試験について 3 文化スポーツ表彰について 4 辞令交付式、入学式について

(3)意見交換会・懇談会

①大磯町立学校PTA連絡協議会役員との懇談会

日 時	平成23年7月30日(土)	
場 所	大磯町役場4階第1会議室	
日 程	開会 あいさつ 自己紹介	10:30
	教育委員会の仕組みについて(教育長)	10:40～
	懇談	10:50～
	閉会	12:00
事務局参加者	教育長、理事、子ども育成課長、生涯学習課長、子ども育成課主幹、子育て支援室長	
大磯町立学校PTA 連絡協議会参加者	各幼稚園・学校PTA本部役員(計26人)	
懇談会の主な内容	<p>① 教育委員会制度の概要について(教育長)</p> <p>② 防災体制(地震への対応)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線測定については、スポットで高い数値が出ているところもあるので、中学校でも測定してほしい。高い木の下は高い数値が出る可能性がある。地下水や井戸水も気になる。 ・基本的には安全だと思っているが、危機管理対策室に要望を伝えていく。(委員) ・測定は今後何十年も続けていく必要がある。内部被ばくについても、測定を検討してほしい。町がどこまで子どもの被ばくを抑えていこうとしていくかが大切。 ・文部科学省の基準。新しい情報を入れて行動していきたい。測定については町では教育委員会から動いた。保護者の意見を尊重する姿勢でいる。(委員) ・地震避難については、学校、園の状況により異なってくる。基本は、学校や園で預かっているということ。登下校中について、基本は学校を目指す。状況により変わってくる。状況は一人一人違うので、家庭でも一緒に考えてもらうようになる。(事務局) ・基本の行動を示してほしい。地域の方の協力もお願いしたい。ボランティアとの連携も必要と思う。 ・地域の防災体制を考えると、保護者の皆さんにも地域に入ってほしいと考えている。(事務局) ・給食については、すべての食材を検査することはできないと思うので、できるだけ汚染されていない地域の食材を使ってほしいと思う。魚が心配。新米が出た後の米も心配。きめ細かく対応してほしいと思う。 ・行政として風評被害を考えると、この地域のものを使わないとは言えない。学校給食会で食材納入を検討するので、情報交換しながら食材を考えていく。情報をいただきながらできる範囲で対応していく。(事務局) ・国は安全だと言ってもそうでないことがある。小さな大磯町だからこそきめ細かく考えて対応してほしい。 ・国に従わなければならないという考え方ではなく、判断の基準として参考になっているという考え方である。(委員) <p>③ 学校・幼稚園から</p> <p>【国府幼】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難について、3歳の子どもが国府中まで避難するのは不可能と思っている。レストヴィラへの避難について町からも働きかけをお願いしたい。近くのお寺(蓮華院)も検討してほしい。 ・トイレが和式。1つでよいので洋式に改修してほしい。 <p>【大磯小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透明階段の吹き抜けと、図書室前のアクリル板の改修が必要。 ・扇風機の設置及び跳び箱、マットの買い替えを要望する。 ・図書館司書が年ごとに替わることはないように。蔵書の確認等がしづらくなる。 ・バーコードシステムの導入を進めることになっていたはずである。 <p>【国府小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレは20分に一度水が流れるシステム。悪臭がひどい。H24下水道接続に合わせ ・プール建設の詳細公開を要望する。アンケート集計を提出するので対応を求める。 <p>【大磯中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA会費から150万円ほど補助している。これは正しいことか。 ・寄付手続きについて学校に周知してほしい。 <p>【国府中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の質の向上に配慮してほしい。保護者が協力している現状があるが、教育を 	

日 時	平成23年11月26日(土)	
場 所	大磯町役場4階第1会議室	
日 程	開会 あいさつ 自己紹介	10:00
	教育長から町立幼稚園の将来構想について	10:10～
	懇談	10:50～
	閉会	12:00
事務局参加者	教育長、子ども育成課長、生涯学習課長、子ども育成課主幹、子育て支援室長	
大磯町立学校PTA 連絡協議会参加者	各幼稚園・学校PTA本部役員(計17人)	
懇談会の主な内容	<p>① 第1回懇談会での幼稚園・学校からの質問・要望に対する回答</p> <p>② 「学校・幼稚園における地震対策マニュアル」の一部改訂について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急性のある部分から、順次見直しを進めている。改訂したものについては、教育委員会HPに掲載している。(事務局) ・HPを見られない人もいる。内容を町民全体で共有できるようにしてほしい。 ・登下校中の対応について地域との懇談もしているが、はっきりした方向が見えてこない。 ・地区と学校の懇談会に出席したが、地区として協力をしたいが、地区としてどのように対応したらよいかかわからないという声があった。学校の方針が伝わっていない。学校が作成するマニュアルの中に、登下校中の発災の場合にどのような対応を地域にお願いしたいのかを示して伝えていく必要があるのではないか。(委員) ・実際にどこに避難したらよいかかわからない。避難する場所がない。具体的に避難できる場所を考えなければならないと思う。 ・教育委員会だけでなく、町全体で考えていかなければならない。発災したら全員が混乱すると想像される。最低限できることは何かを想定して検討していく必要がある。(委員) ・地域にどれだけ助けてもらえるかがポイントになると思う。PTAや学校が地域に強く発信しきれていない現状があると思う。強く発信して、深く話し合いをしていかなければならない。早急な問題である。(委員) ・体育館での授業で防災頭巾を持っていた。よいことだと思った。マニュアルの改訂も大切だが、小さなことから対応し、続けていってほしい。 ・明日、西部地区で津波避難訓練が実施され、一時避難場所へ避難する。子どもたちも参加できるとよい。(教育長) <p>③ 学校・幼稚園から</p> <p>【国府小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修の内容について確認。 ・プール説明会を2回行い、一般会員にその後どうなったかの報告、説明がなされていない。 ・説明会の予定をこまめに発信してほしい。やりとりがうまくいっていない。要求されてから回答ではなく、積極的に発信してほしい。 <p>【大磯小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NCR跡地の宅地開発について、100人規模の子どもが増えるのではないかと統計的に判断できるのではないかと。跡地の残りを考えると、大磯小のキャパにもかかわってくる。積極的な情報収集と対策を要求する。 ・校舎施設、設備等の痛みが放置されている。修繕費の予算化が必要である。安全対策にも配慮が必要である。放置することによって、結果として大きな費用がかかることになる。積極的な対応をお願いしたい。学校予算の付け方について疑問がある。 ・学校は指定避難所となっているが、食料等の確保が少なく、心配である。 ・給食の放射能汚染に対して、学校、教委、町の担当課、地域の連携が必要である。 ・NCR跡地の宅地開発にかかわる児童増について検討する。放射線については、手 ・放射能で汚染されていない食材を使用していないのが前提でよいか。産地よりも、確 	

②中学校地域フォーラム・地域ふれあいの集いへの参加

日 時	平成23年8月27日(土)	
場 所	国府中学校 視聴覚室 (国府中学校地域フォーラム)	
日 程	学校長あいさつ	14:00～ 16:00
	大磯警察署から	
	危機管理対策室から	
	全体討議	
	PTA会長から	
教育委員会参加者	各教育委員、事務局職員	
学校・地域等参加者	各地区役員、PTA役員、各地区保護者、民生児童委員 大磯警察署員、大磯町危機管理対策室職員、学校職員等	
懇談会の主な内容	<p>○大磯警察署から</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内の犯罪発生状況について(自転車盗難防止、不審者、振込詐欺) 計画停電時の対応について <p>○危機管理対策室から</p> <ul style="list-style-type: none"> 石巻市への派遣職員情報から得られた教訓について <p>○全体討議</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災教育の充実や中学生のボランティア参加について。中学生を活かすためにはしっかりとした指揮系統が必要である。 各地域における備蓄状況について。国府中学校には、PTAの協力で備蓄があるが、生徒数分だけである。 情報伝達手段について(メール配信、防災行政無線)。防災行政無線は町内にしか聞こえない。町外にいる場合にはSCNのメール配信を活用できる。 	

日 時	平成23年9月3日(土)	
場 所	生沢会館(国府中学校地域フォーラム)	
日 程	学校長あいさつ、出席者自己紹介	13:00～15:00
	大磯警察より、危機管理対策室より、子ども育成課より	
	全体討議と発表	
	PTA会長から	
教育委員会参加者	竹内教育委員長職務代理者、事務局職員(山口)	
学校・地域等参加者	各地区役員、PTA役員、各地区保護者、民生児童委員 保護司、青少年補導員、学校職員等	
懇談会の主な内容	<p>・県内の少年非行の概要説明。・石巻市への派遣職員情報から得られた教訓について</p> <p>☆テーマ「今だからこそ…地域の防災」</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族で災害の話をしたが、子どもは家の周りのことを良く知っている。話の中で避難や防災などの色々なアイデアが浮かんでくる。 「防災体制(地震への対応)について」の内容を各家庭に配布。 <p>行事などで外に行っている場合は、学校は災害時伝言サービスへすぐ録音する。中学生は地元にいる。高校生は行動範囲が広くなり地元にいらない場合があるので、中学生のボランティアを期待したい。まずは部活単位などでの参加ではあるが、地域で褒めていただき自信がついてきている。少しずつでも広げて行きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生が小学生、小学生は上級生が下級生や幼稚園児の面倒を見るなどの連携が必要。 中学生は指示をすれば大人の動きが出来る。幼小中の連携で体験させたりすることにより、人の役に立つ経験をさせて充実感を持たせて欲しい。 	

日 時	平成23年9月10日(土)	
場 所	大磯中学校体育館(大磯中学校地域ふれあいの集い)	
日 程	PTA副会長・PTAふれあい委員長あいさつ	14:30
	防災体制(地震への対応)について説明	14:40
	グループ別懇談	14:50
	各グループからの発表	15:45
教育委員会参加者	各教育委員、事務局職員	
学校・地域等参加者	各地区役員、PTA役員、各地区保護者、民生児童委員 保護司、青少年補導員、学校職員等	
懇談会の主な内容	<p>○防災体制(地震への対応)について、教育委員会事務局から説明</p> <p>○グループ別懇談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会について ・大磯中学校の生徒について ・家庭に伝えておきたいこと、学校に伝えておきたいこと <p>○各グループからの発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線測定は継続的に行ってほしい。 ・子ども料金での鉄道利用や万引き等の問題が発生している。 ・ケータイ使用により交友関係が広域化するとともに、不適切情報に接する機会が多くなっている。 ・町立学校等で合意した防災体制については、情報を保護者だけでなく地域の一般家庭にも知らせてほしい。 	

日 時	平成23年9月2日(金)	
場 所	国府小学校 各教室(国府小学校地区懇談会)	
日 程	各地区別懇談	14:00～16:00
教育委員会参加者	各教育委員、事務局職員	
学校・地域等参加者	各地区役員、PTA役員、各地区保護者、民生児童委員 大磯警察署員、大磯町危機管理対策室職員、学校職員等	
懇談会の主な内容	<p>○テーマ「緊急災害時の対応について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の役割は、災害の発生時間によって異なってくる。どのような時間に地域には何を期待するのかをはっきりさせてもらえるとうありがたい。 ・登下校中は、大人が家にいれば家か学校の近い方、大人が家にいなければ学校に向かうことを原則として伝えている。 ・国府中学校に避難しなければならない状況を想定して、学校では中学校への避難訓練を実施する。 ・学校でさまざまな状況への対応方針が徹底されていると安心できる。 ・学校の対応の計画や予定について、保護者に通知するだけでなく、地域にも回覧すると地域としては協力しやすい。 ・中学生が自分で自分の身を守ることや、ボランティアについて考えるようになっている。子ども自身に身を守る力をつけさせる防災教育を充実させたい。 ・通学路の安全性を子どもと教師と地域と一緒に歩きながら点検をするということもできる。 ・学校には、地域は何をすることができるか発信してほしい。 ・地域と単独の学校の連携だけでなく、校種を超えた連携が効果的である。 ・本日開催の「地区懇談会」も小学校と中学校が同じような時期に別々に開催している。幼保小中が共同で開催することはできないか。防災対策も共同で考えれば、地域としても協力しやすい。 	

(4) 訪問

① 学校・幼稚園訪問

訪問学校・園名	国府中学校	
日 時	平成23年5月18日(水) 13:20 ~ 16:30	
日 程	開会	13:20
	授業参観	13:30~14:20
	清掃活動参観	14:40~15:00
	職員との懇談	15:10~16:30
	閉会	16:30
訪問者	教育委員4名、教育長、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	校長、教頭、各担当教員	
懇談会の主な内容	<p>【担当者から教育活動の概要説明】</p> <p>① 教育課程について ② 学校研究について ③ 各学年及びふれあい学級の生徒の様子 ④ 教育相談関係・生徒指導について ⑤ 健康面について</p> <p>【懇談】</p> <p>◇ 返事の仕方や言葉遣いなど、学級や学年を観察した。1年はおとなしい。授業場面にもよるだろうが、「はい」という返事は聞かれなかった。2年はざわつきがあり、落ち着かない感じがした。3年は授業についていけない生徒がいて気になるクラスがあった。一方で去年よりステップアップしていると感じられるクラスもあった。全体的には去年よりも落ち着いて参観することができた。</p> <p>◇ 生徒間暴力について、教育委員会事務局に適時に報告はされていたか。 → 会議において報告はしていた。事案については誤解等が起こらないよう報告をしていく。</p> <p>◇ 小学校との連携は、具体的にどのようなようになっているか。 → 中学校教員による小学校での出前授業、教員の相互授業参観、情報交換会、人権教育研究会への小学校教員の参加、小学生による部活動見学、支援シートの引き継ぎ、入学前の不安解消のため小学生の質問に答える機会の設定などを行っている。</p> <p>◇ 1年はきっちり授業を受けようとする態度があり、2年は生徒の前向きさを感じた。3年は、卒業式で返事をして証書を受け取ってくれそうだと期待した。学校全体として前に向かって進んでいる。生徒も先生も明るくなっていて嬉しい。</p> <p>◇ 生徒と先生は鏡を見合っている関係だと感じた。いい方向へ進んでいる。授業ではみんなが前を向いていた。</p> <p>◇ カウンセリングルームと保健室を訪れる生徒は同じ子か。 → 重なりはあると思う。保健室は基本的には体調不良を理由として来室している。 → 相性もあり、生徒は話しやすい方に行っているのではないかと思う。</p> <p>◇ わかる授業を展開していくことが一番必要なことである。今日の授業でも様々な工夫がされていた。音楽の時間に3年生が大きな声で歌っていて感激した。 → いろいろな生徒がいる。本日の訪問で評価してもらえた部分も、たまたま出会った一場面での評価であり、別の場面ではまた違った評価となることも考えられる。ただ確かに言えることは、国府中学校の職員集団は、課題のある生徒も多いがそれを受けとめる度量のある集団であるということ。これからも見守っていただきたい。</p> <p>◇ 昨年以來、委員はどうやって安心・安全な学校にできるか話し合い、相談してきたが、子どもに対応するのは最終的には先生一人一人である。</p> <p>◇ 音楽でリコーダーを忘れていた子が、太鼓のスティックを持って指使いの練習をしていた。</p> <p>◇ ロッカーやトイレは、指導の努力のあとが見てとれた。清掃時間に生徒が集めたごみはほぼ学校組織として、一人一人の役割分担が機能をするようお願いしたい。例えば、毎月の</p>	

訪問学校・園名	国府小学校	
日 時	平成23年6月15日(水) 12:30 ~ 16:30	
日 程	給食試食	12:30~13:00
	開会・懇談①	13:10~13:40
	授業参観	13:45~14:30
	懇談②	15:00~16:30
	閉会	16:30
訪問者	教育委員4名、教育長、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	校長、教頭、各担当教員	
懇談会の主な内容	<p>【グループ・全体での懇談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数の学習の大切さを感じた。教師の発問の難しさを感じた。言語活動の充実をもっと研究することも必要。 ・体育指導では、安全面に配慮がされていた。児童へのアドバイスがよかった。 ・トイレの環境について、PTAのサポーターが協力してくれて助かっている。昨年度より業者の清掃回数が増えた。 ・異学年交流「にこにこタイム」の活動が定着してきた。 ・電子黒板の利用について、学校でソフトを購入したので、より活用するようになった。 ・各教室のインターホン設置、床材の改善、支援員の時間数増加について要望。 ・体育の水泳指導、プールの使用時間等の工夫が今後の課題である。 ・教室環境は、風通しがよく、夏も割と涼しい。 ・オープンスペースには、メリットとデメリットがある。床掃除は大変である。 ・給食室が西北を向いており、暑い。床の水はけがよくない。 ・授業時間の基本的なルール、発言の仕方など、校内で共通した指導が必要である。 ・書くことについて1~6年が、どのようなスキルを身につけたらよいか検討すべきである。 ・AETがかかわる外国語活動の時間は、ゲームに取り組むなど工夫して行っている。低学年から実施しているところがよい。 ・放射能測定の後々の方向性は課題の一つである。 ・授業にしっかりと参加する和やかな集団づくりのための教師の関わりとはどのようなことか。子ども一人ひとりとの時間、会話の大切さ、がんばっている子に焦点を当てることなど。何かあっても、それには原因があるので、子どもを理解し、よい方向へ導いていくこと。児童自身が信頼されていると思えば、悪い方向へは行かない。信頼と愛情が必要である。 ・運動場やプールの使用について今後の課題であると思う。 ・会議は時間外に行うことが多い。土日に学校に来て仕事をしている教員も少なくない。子どものことで一生懸命になっているが、メンタルヘルスの面で心配でもある。 ・今年度から2学年で授業時間が週1時間増えている。各学年についても授業内容が増えているので、教材研究等が大変になっている。 ・校務用パソコンの整備で時間短縮に繋がると思う。校務用パソコンは夏季に導入する。成績処理などセキュリティに注意が必要で今後の課題である。 ・電子黒板に合わせたプリンタも要望。レーザープリンタを2台、カラーを1台設置する。 <p>【あいさつ・授業の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観の感想として、各学年工夫していた。子どもたちがけじめを持って取り組んでいた。(ノートの使い方、音読など) ・ベテランの先生の授業がとてもよかった。1時間の流れ、リズム等、子どもに配慮がさりげなく ・お互いの授業参観を取り入れ、先生方の指導力の向上を図っていただきたい。 ・教職員の方、すべてが学校集団としてよい雰囲気伝わってきた。 ・アンテナを高く、がんばって対応していただきたい。 ・事務局への要望や実態からの意見、先生方の細かな気遣いなど聞かせてもらえてよかった 	

訪問学校・園名	国府保育園	
日 時	平成23年7月20日(水) 13:15 ~ 14:45	
日 程	開会	13:15~14:45
	保育参観	13:15~13:45
	職員との懇談	13:45~14:45
	閉会	14:45
訪問者	教育委員4名、教育長、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	園長、園長補佐、各担当職員	
懇談会の主な内容	<p>○ 園の保育実践について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの「養護」に加え、「教育」も色濃くなるようにしている。正規職員は少ないが、子どもの幸せのため協力して努力している。(園長) ・ 保育計画、目標、方針、内容等について説明。(園長補佐) ・ 小学校との就学に向けての連携が進んでいる。幼稚園との交流も頻繁に行っている。子育て支援総合センターや平塚保健福祉事務所等の関係機関とも連携している。(園長補佐) <p>○ 4歳児クラスのスケッチシアターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが夢中になっていた。手作りのよさがあったと思う。準備が大変だったのではないか。ストーリーの中で、お弁当を分けてあげるという優しさなども身に付けている。(委員) ・ パネルシアターやエプロンシアターにはこれまでも取り組んできた。先日行われた保護者会の企画の中でスケッチシアターが行われ、子どもの反応が良かったため採り入れてみた。(保育士) <p>○ キャンプについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当日に向けてイメージをつかみながら準備を進めた。これまではサンキッズ大磯と合同で行っていたが、今年は話し合いの結果、単独で行うこととした。子どもたちは、キャンプが終わった後も、思い出を絵にしてお世話になった先生に贈るなど、楽しく充実した企画となったようだ。(保育士) <p>○ 研究テーマ「絵本の環境整備及びその有効利用方法を考える」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園にある本の確認を行い、リストを作成した。痛んだ本の買い替えや、新規購入を進めている。(保育士) ・ 予算措置しているので、有効に活用してほしい。(委員) <p>○ 規範意識等の学びについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2歳位になると話して分かるようになってくる。「貸して」「順番」など、遊びの中で伝えていくようにしている。(保育士) ・ 子どものけんかは、途中まで見守り、タイミングを見て助言するようにしている。(保育士) ・ 保育園のこの時期に、必要なことは言い聞かせておくことが必要だと思う。(委員) ・ 赤ちゃんのときからの積み重ねが大事だと思う。0歳児・1歳児でも、表情や雰囲気や伝えることができ、子どもも理解している。(保育士) <p>○ 避難訓練・防犯訓練等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月、計画に従って訓練を実施している。(全般・火災・地震・土砂崩れ等)(保育士) ・ すぐやる室に避難経路にもなっている通路の補修をしてもらえ、避難が楽にできるようになった。北側からの避難経路も整備できるとよい。(保育士) ・ 警備会社から防犯ブザーが貸与されているが、数の関係で持っている職員が限られている。施設の鍵もついているので、できるだけ多くの職員が持てるとよい。(園長) <p>○ 給食アレルギーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人のアレルギーの状態により対応している。アレルギー対応に限らず、給食の担当 <p>○ 終わりに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園長の話の中に、職員がこれしかないのとらえるのではなく、これだけいると考えているとい ・ 人としての基礎を学ぶ時期、園の保育で大事な部分を担ってもらっている。これからも努力 ・ 地域の長寿会より、園児の訪問を楽しみにしているという声があった。(委員) 	

訪問学校・園名	大磯町立小磯幼稚園	
日 時	平成23年9月28日(水) 13:15～15:20	
日 程	開会	13:15
	保育参観	13:20～14:00
	職員との懇談	14:20～15:20
	閉会	15:20
訪問者	教育委員4名、教育長、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	小磯幼稚園職員全員、教育支援員	
懇談会の主な内容	<p>【園から】<保育の実践について> 教頭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・39年間町立幼稚園として行ってきた。町立幼稚園ならではのことを打ち出している。 ・幼・小・中の連携が大切と考えている。色々なところ小学校・中学校の行事に参加している。 ・保護者との関わりとしては、毎日話し合うことが出来る。園児一人ひとりの課題に取り組んでいる。保護者を見ると子どもが分かる。 ・支援チームの訪問は、大変助かっている。スクールアドバイザーとの話し合いもあり、支援チームの充実を感じている。保育に助かっている。小学校に行って子どもたちが困らないようにする。安心して小学校に送り出せる。スクールアドバイザーの力が大きい。目に見えない発達障害などは、マイナス面を見るのではなく、前向きにみる。 ・自然環境も良く、田んぼや畑に行っている。きゅうりやナス、トマトがたくさん収穫でき、食べることが出来た。 ・園児の人数は、ちょうどいい環境である。一人っ子のお子さんも多いので、我慢することも体験させている。支援員さん2名が発達障害のお子さんをよく見てくださっている。 <p>【懇談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年中、年少の時は、皆の中に入れず、職員室で教頭が見て安定させていた園児も、年長になって、クラスで過ごす時間が増えた。楽しいところは中に入っている。だんだんに成長している。運動会を3回見させていただいた。1年目は先生を大変困らせていた。昨年もう少し困らせていた。今年は成長していた。ゲームにも参加し、かけっこもやり、お手伝いも出来てきた。お母さんと一緒に見守っていただければと思う。小学校は人数が多くて戸惑うこともあると思う。先生もご苦労が多かったと思う。 ・3.11の地震のあと、小さいお子さんを預かっているの、保護者から何か言われたことはありますか。→3.11のときは、PTA総会でお母さんと子どもと一緒にいた。ここは20mあるが、城山公園に行った。町からの情報は伝えている。 ・避難訓練はどうですか。→城山公園の一番高い所まで行ったが、17分かかった。年長が手を繋いで行っている。津波が10分で来ると避難は無理である。ここは高いのでここにいるしかないのかなとも思っている。津波は川を上がってくる。何が一番いいのか分からない。判断が難しい。 ・年中が年少を、年長が年中・年少を包み込む感じで良かった。年長が下の子をかわいが。今まで受け継がれてきた。きりん組に憧れを持っている。手を繋いだりして、大きくなったらこうしてやるんだと自覚ができる。 ・新しいお母さんとはコミュニケーションづくりが難しい。写真で解説しているが、お母さんがト ・人数的に指導しやすいと思う。少なくとも集団行動が取れない。 ・子どもたちののびのび感が大事である。園児はあいさつするし、活発で安心した。 ・幼児教育は根本である。中学生を見ているが、我慢できない子が多い。 	

訪問学校・園名	大磯町立国府小・中学校生沢分校	
日 時	平成23年10月19日(水) 13:10～17:00	
日 程	開会	13:10
	授業参観	13:20～14:05
	懇談会	14:20～17:00
	閉会	17:00
訪問者	教育委員4名、教育長、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	校長、教頭、国府小・中学校生沢分校全職員	
懇談会の主な内容	<p>【委員長挨拶】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観し、個性あふれる先生方の授業や子ども達の様子を見ることができた。 ・運動会で、先生方のサポートにより子どもが柔らかくのびのびとした表情に変わった。 ・先生と子どもの関係が良い。その裏にある子どもとの信頼関係で成り立っていると感じた。 ・個人的には3年前から見ているが、子どもたちのために先生方が一丸となって御尽力いただき、教育委員会としても支援していきたい。 <p>【学校長挨拶】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分校設立9年目、県下の課題を抱えている子どもたちを預かっており、当初より予測できたであろう課題が協議会でも話題となっている。①前籍校では特別支援学級に在籍していた子どもが、分校には特別支援学級がない為、公立前期で合格する子と一緒に環境の中で学習している。先生方がいかに優秀な指導力があっても、人数としては十分ではない中で指導している。 ②中1、2年生が複式学級でスタート。2名人員減。生徒が増えたら教員を増やす。現在技術科教師がおらず、音楽科の教員が兼任している。町、県教委に今後もっと働きかけ、より良い指導ができる環境を充実させていきたい。 ・福祉と教育が子どもに対する愛情により、うまく協力体制が取れている。 <p>【教育活動の概要】各担当より説明。</p> <p>【懇談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方が生徒を集中させようと良く努力されている。 ・教育委員会として、教員配置、環境を整えるよう努力していきたい。 ・人と人との関わり(信頼)による指導と授業のバランスが良く考えられていた。 ・口では言い表せない努力・働きかけをされていると推測できる。先生が個性、人間性を子どもにぶつけ、子どもも本音で返ってくる。子どもに寄り添い、時には厳しく、自尊心を育てていると思う。 ・児童自立支援施設である学園へ入所した方が将来的に見ればメリットが大きい子が他校にもいる。愛情を込めてこちらで育てていただけている。 ・前籍校との教科書の違いや地域での進み方の違いがある。また、入所前児童相談所の一時保護や鑑別所などで授業を受けていない子もいるので、ワークシート形式が入りやすくプリント学習が多い。 ・学園との関係が近くなっていてとても良い。寮の先生が授業参観に来てくれ、トラブルにもすぐに一緒になって対応してもらっている。分校職員も放課後寮を訪問している。連携をとっていることにより、朝に夕に子どもの気持ちの支えとなっている。 ・1人のマイナス行動からストレスがたまり学校全体にも影響が広がりやすいので、分校と寮の全職員が同じ指導の共有と協力しながら対応している。 ・地元に戻って活躍できるよう分校にいる間にモチベーションをあげている。関係者に分校には研修はありがたいが、旅費が本校・分校含め既に赤字。人数割りではなく2校分として配当。 ・子どもの仕草・様子を見ながら子どもの気持ちを汲み取る。教育の原点。 ・トラブルの際、すぐに対応するが、特に被害を受けた子どもの保護者への対応が重要。 ・生徒指導には王道がないので、努力を続けていただき、少しずつでも前進して行って欲しい。 	

訪問学校・園名	大磯町立大磯中学校	
日 時	平成23年11月16日(水) 13:10～16:45	
日 程	開会	13:10
	授業参観	13:25～14:15
	学校教育活動の概要説明	14:25～15:15
	懇談会	15:30～16:45
	閉会	16:45
訪問者	教育委員4名、教育長、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	校長、教頭、総括教諭、各グループリーダー、養護教諭、事務主査	
懇談会の主な内容	<p>【学校長挨拶】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭来校者記名者のみで900名来校。 ・現2年生から入試の選抜制度が大幅に変わる。 <p>【学校教育活動の概要説明】教育委員会による大磯中学校訪問懇談会資料で説明。その後質疑。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員のメンタルヘルスは？←今のところなし。名部活動や学級経営等で苦しんでいる先生もいたが、職場で悩みを話せる磯中の環境や周りの先生方の配慮により立ち直っていると思える。 ・いじめは？←不容易な言葉によるものが多い。メールによる誹謗、中傷が少なくなってきたはいるが、なくなっていない。暴言はある。学級懇談会を特別に開催した学級もある。生徒会で学校を良くする十箇条をつくり、今週のテーマとしてその中の一箇条を重点に取り組んでいる。 ⇒粘り強く声かけ、人権教育、道徳教育に取り組んでいく。 ・8月1日 国土交通省による長年に渡る松並木清掃の取り組みが表彰された。 ・避難訓練 5月集団下校、9月地震・津波、11月火災(煙、消火、オロー)来年度は、幼・小・中合同での引き渡し訓練をしていきたいと考えている。津波時は校舎3Fへ ・8月に町・学校・地域の方と、避難所のための話し合いをもった。 ⇒中学生が、どのように動くかを区長さん達に把握してもらおうこともねらいであった。 <p>【懇談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室にスローガンなどが貼ってあり、各クラス、廊下の掲示物が整っていた。←普段の教育によるもの ・ライフチェック集計の一部を公開して話し合いを持ち、人間関係を良くする十箇条を一学期に作った。2学期に学校議会で振り合えりを行っている。10月より3年生は毎朝声に出して読んでいる。一週間に一箇条ピックアップし重点的に取り組んでいる。 ・清掃はやるのが当然と行く感覚から遠のいてきている。家で一人一役などない。雑巾を絞れない生徒も…。訓練されていない。 ・集団不適應の生徒への対応に、先が見えない不安さを感じているが協力して取り組んでもらっている。 ・入学式のときに携帯電話は学校では必要ないことを言った。 ・携帯の取り扱いについて、ゲーム機も含め小学校と連携することが必要。携帯の使い方の指導が大事。買う時点で、約束事を決めることが大事。→小学校低学年からの取り組みが大事。フィルタリング、ゲーム、スマホ。保護者へのルール決め等への働きかけが必要。 ・2学期より携帯電話申請方式にした。(申請者78人、理由は不審者対策、防犯、防災) ・生徒達は、生まれたときには携帯が存在し、持つなどは言えない。持っているということがベースで考えてできるだけ家族でルールを決めることや申請方式も一つの手段として考えら ・小田原での通知表ミス。記入ミスのないように十分注意して欲しい。通知表ミスは信頼を失 ・来年度は新学習指導要領や新入学選抜の実施等あり授業改善の工夫が必要。要望として ・入学式→運動会→文化祭→学校訪問で感じたこと。1年生は大人っぽくなり、2年生は中間 ・新学習指導要領実施、入学選抜の変化など大変だと思うが頑張っ ・いじめはなくなっていないをどのように解決に導くか。地道な努力を積み重ね、その姿をみ 	

訪問学校・園名	大磯小学校	
日 時	平成24年1月18日(水) 12:20 ~ 16:50	
日 程	給食試食	12:20~13:00
	開会・挨拶・教育活動の概要説明 I	13:05~13:35
	授業参観1(モジュール)	13:35~13:50
	授業参観2(5校時)	13:55~14:40
	教育活動の概要説明 II	15:05~15:20
	職員との懇談	15:30~16:30
	閉会	16:40
訪問者	教育委員4名、教育長、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	校長、教頭、各担当教職員	
懇談会の主な内容	<p>【担当者から教育活動の概要説明】</p> <p>① 学校要覧に基づき教育活動の概要説明 ② 防災防犯マニュアルに基づき防犯・防災対策について説明 ③ 学校評価アンケートの結果について ④ 保健室利用状況等について ⑤ 学校研究について</p> <p>【懇談】</p> <p>(校長) 時間を超越して努力をする教職員の姿がある。子どもたちの命を守り、育むことが教員の使命と捉えている。教職員が一体となったとき、子どもが伸びることを実感している。</p> <p>◇ これまでの研究が息づいていると感じた。若い先生の増加と伝統の伝達でやりがいと苦労があると思うが、良さを伸ばし、伝統を伝えるようにお願いしたい。</p> <p>◇ 新学習指導要領の実施に伴う授業時間数増による影響はあるか。 → 週5日のうち4日が6校時までで、放課後の時間が短い。会議等は水曜日に行うようにしている。</p> <p>◇ 年間の授業時数を確保したうえで、先生が元気に子どもに接するためにどう工夫できるかを考えてほしい。事務量は増えても、減ることはない。6校時目にどんな授業を行うか工夫するのも効果があるだろう。</p> <p>◇ モジュール英語は学年ごとに同じ内容で行われていた。担任ごとに考える内容で行うこともあるのか。 → モジュール英語は学年共通の内容で行っている。これまでの指導の積み上げを生かした内容としているほか、英語ノートを活用している。学年ごとにテーマ設定している。子どもたちは英語に抵抗がない。</p> <p>◇ すべての学年を参観したが、子どもの表情や活動の様子は皆楽しそうで、生き生きとしていた。英語への意欲を高めて中学校へ送り出してほしい。 → 担任が英語の指導をすることについて、最初は戸惑いも確かにあったが、見本となる授業を見せてもらってイメージが湧いてきた。恥ずかしくなく、楽しみながらできるようになった。</p> <p>◇ 悩むより実践だと感じた。昨年よりも、教員に自信が出てきたように感じた。</p> <p>◇ 教員同士でよりよい板書の仕方を共有、工夫できるようにお願いしたい。</p> <p>◇ 児童のアンケートで「⑥学校の勉強は、よくわかる。」のプラス評価が減っていることについてどうとらえているか。 → 体力つくりとあいさつは今後の課題ととらえている。児童の⑥は課題として考えていく。</p> <p>◇ 小学校の勉強が分からないまま中学校に進むとそれも中1ギャップとなる。卒業までには基本的な学習事項を習得してほしいと思う。</p> <p>◇ 勉強が分からないと非行の確率が高まる。学習内容の習得ができるように工夫を考え続けてほしい。</p> <p>◇ 小学校1年生からの意識づけ、習慣づけができるとうい。先生には保護者と児童に学習する</p> <p>◇ 教員本来の仕事に加えて、安全面での仕事が増加している。教員にとっては大変な状況</p>	

訪問学校・園名	国府幼稚園	
日 時	平成24年2月15日(水) 13:15 ~ 15:30	
日 程	開会	13:15
	保育参観	13:20~14:00
	職員との懇談	14:20~15:30
	閉会	15:30
訪問者	教育委員4名、教育長、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	園長、教頭、全教員	
懇談会の主な内容	<p>【職員との懇談】</p> <p>◇ 子ども達から「こんにちは」「Good morning ! 」という挨拶があった。</p> <p>・ 園児のことを全職員が分かっている。支援も全職員で行っている。アットホームな幼稚園である。また保護者もあたたかく、協力的である。昨年度の幼稚園評価を受け、本年度は4点を重点目標として取り組んできている。①あいさつ ②食育推進 ③毎月の安全点検 ④幼保小連携 である。教員は皆ベテランで、しかも向上心がある。</p> <p>○ 保育実践について 重点目標4点と年少・年中・年長各クラスの実践について具体的に説明</p> <p>○ 幼稚園教員から</p> <p>・ きめ細かく丁寧な保育を目指しており、そのために教育支援員の存在は大きい。人数や勤務時間数の確保をこれからもお願いしたい。</p> <p>・ 預かり保育の専任保育士が配置され助かっている。利用者が多いときには一人では対応できずに協力している現状がある。利用人数により改善を求めたい。実施曜日を固定化したことについては賛否両論がある。預かり保育用の教材費等を充実してほしい。16時のお迎え時間が守られていない。</p> <p>・ 保育室とテラスの間に段差があり、サッシの敷居部分でつまずいたり、滑ったりし、怪我があった。</p> <p>◇ 安心感のある保育がされていると感じた。発達の段階に応じた保育室の環境設定がされていた。教育支援員の予算について、予算要求の際には「人を減らさない」ことを訴えている。財政状況から難しさはあるが、町長に伝え、できるだけ努力をしていきたい。</p> <p>◇ 重点目標の1番が「あいさつ」であることがありがたい。あいさつを小さいうちから身に付ければ大きな財産になる。</p> <p>◇ 保育園は遠いが、連携として子どもの交流はされているのか？ → たかとり幼稚園、国府保育園と園児の交流を行っている。各園のほか、城山公園等で年間6回ほど交流の機会を設定した。所属の園をばらばらにしたグループを編制し、年間を通して同じグループで活動した。先日はたかとり幼稚園の周りでマラソン大会も実施した。</p> <p>◇ 意図的・計画的に子どもの交流ができていることはすばらしい。</p> <p>◇ 預かり保育の実施については意義があるが、職員の負担を想像すると痛し痒しと考える。利用者が多いときには、できる範囲での協力をお願いしたい。</p> <p>◇ 保育室の中で行われる活動、園庭で行われる活動、弁当の時間という3場面について、どのようなことを意図したり、配慮したりして保育をしているのかを教えてください。 → 弁当の時間には、友達と一緒に食べる嬉しさを感じ、好き嫌いをなく何でも食べるようになってほしい。年少児は言葉での理解が難しいので、見て分かるように見本や過程を示すよ</p> <p>→ 弁当は座って食べるというしつけのほかに、食べることに集中する時間として「モグモグタイム」</p> <p>◇ ドッジボールを子ども達がしているときの先生のかかわりがよく分かった。色画用紙に絵を</p> <p>◇ 園児も電子ゲーム機で遊んでいるのだろうか？ → 持っている子どもは多いようだ。</p> <p>◇ 本日の保育は安心してみていることができるものであった。</p>	

②行事等

行事名	月 日(曜)	対象園・学校
運動会・体育祭	5月31日(火)	国府中学校
	6月4日(土)	大磯中学校
	9月16日(金)	国府小・中学校生沢分校
	9月17日(土)	国府保育園
	9月24日(土)	小磯・たかとり幼稚園
	10月1日(土)	大磯・国府幼稚園
	10月8日(土)	大磯・国府小学校
文化祭・保育発表会等	10月22日(土)	大磯中学校文化祭
	10月22日(土)・23日(日)	国府中学校文化祭
	11月23日(水)	おおいそ学園(生沢分校)収穫祭
	12月3日(土)	国府保育園お楽しみ会
	12月15日(木)	大磯・たかとり幼稚園保育発表会
	12月16日(金)	小磯・国府幼稚園保育発表会
卒業式証書授与式 ・修了証書授与式	3月9日(金)	大磯・国府中学校
	3月12日(月)	国府小・中学校生沢分校
	3月15日(木)	大磯・国府幼稚園
	3月16日(金)	小磯・たかとり幼稚園
	3月19日(月)	大磯・国府小学校
生涯学習	11月20日(日)	第9回大磯図書館まつり
	1月9日(月)	成人式
	1月15日(日)	第57回大磯一周駅伝大会
その他行事等	8月24日(水)	大磯・二宮町教育研究所教育講演会
	11月5日(土)	小・中学校音楽会
	11月12日(土)・13日(日)	子ども作品展
	1月28日(土)	英文朗読大会
参加体制	教育委員・事務局職員	

(5)その他の活動

①関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会

日時	平成23年5月19日(木)
場所	栃木県宇都宮市 宇都宮東武ホテルグランデ
参加体制	
内容	東日本大震災のため開催中止

②神奈川県市町村教育委員会連合会研修会

日時	平成23年10月31日(月) 13:30 ~ 15:45
場所	小田原市役所 7階大会議室
参加体制	教育委員4名、教育長、事務局随行
内容	13:45~14:00 開会・あいさつ 14:00~15:30 研修会 演題「思春期の心と体」 講師:公益社団法人 地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター 岩室 紳也 センター長 15:30~15:45 質疑応答 15:45~16:00 閉会・事務連絡

3 項目別点検・評価（内部評価） 平成23年度対象

(1)教育委員会議

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

【目的】 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「大磯町教育委員会規則」に則り、大磯町の教育行政が円滑に運営されるために必要な事項を協議する。			
評価項目	評価	評価の主な根拠	課題に対する改善点等
①教育委員会議が、法令等に沿って、その開催にあたり会議の予定、議案を周知し、議事内容を公開するなど、適切に実施されたか	A	法令に則り年度初めに計画された定例会は開催され、臨時会も必要に応じて適宜開催された。その開催にあたり会議の予定を町広報誌やホームページを通じて周知し、会議の結果の議事内容も公開した。	
②教育委員会議が、適正な意思決定機関になっているか	A	付議事項は慎重に審議され、特に重要な案件は時間をかけ活発な議論をしてきたので教育委員会として意思決定ができたと考える。また、議案審議において、誤った議案付議についてはその誤りを正すなど適切な対応を行なった。	今後も予算の確保に向けて、事前の勉強会、臨時会開催などの取組みの他、行政関係部局等とも早期から必要性・重要性について理解を深めるなどの工夫に努める。
③教育委員会議が、教育行政における今日的な課題に対応しているか	A	今日的な課題である待機児童ゼロ化、いじめなど生徒指導面の課題について、国レベルの内容や学校等の訪問から出された課題に粘り強く対応し、予算の確保もでき質的・量的にも一定の改善を図ることができた。	今後、いじめ問題など学校の抱える課題を把握する機会を増やし、解決策を話し合っていく。
④教育委員会議が、地域住民にとって身近なものとなっているか	B	保護者や地域との積極的な交流・懇談会を通じて地域住民・保護者から得られたニーズ、課題を議論し、それを見える形で情報提供を行なうとともに、教育行政に反映させた。単に地域の方に会議が開かれているかではなく、内容がどのように反映されるのかが課題である。	今後も保護者・地域住民からのニーズ、課題を把握し、議論し見える化に努める。また、これらについて教育委員会議へのフィードバックも行なうよう努める。
⑤教育委員会議は、地域住民・学校との交流・懇談の中から得られた課題を議題として適切に対応したか	B	学校等の訪問やPTAとの懇談会、地域住民との対話を通して提起されたニーズ、課題については、誠意を持ってできるだけ会議等で、議論してきた。しかし、ニーズ、課題が多様で一定の交通整理が必要であったり、各関係機関との調整等も必要である。また、結果的に十分な予算確保に至らなかった点は課題として残る。	ニーズ、課題には予算を伴うもの、学校等の教育方針に関わるもの、行政機関との連携が必要なものなどがある。一層連携を強化し、必要度を見極めて対応する。緊急性、重要性などの観点から優先順位を付け予算の確保とその取組みに努める。
総合評価	A	教育委員会の職務権限に属する案件について、適切に協議し円滑に運営できた。各委員が目的に沿って前向きに取り組んだ。また、付議された議案について、より適切な議案となるよう修正を行なうなどの真摯な議論を行なった。教育委員会議がより適正な意思決定機関となるためにも、タイムリーな課題について審議解決するよう事務局との連携を図っていききたい。また、身近な存在になっているかという点についても、改善されているが、情報収集と情報の提供を効果的に行ってさらに開かれたものにしていきたい。	

【目的】 教育委員会会議を円滑に運営するため、事前の勉強会や次回定例会議事の内容確認等を行う。			
評価項目	評価	評価の主な根拠	課題に対する改善点等
①必要に応じて、適宜、開催されたか	A	平成24年度からの新学習指導要領に則った教育課程の編成、中学校教科書採択、いじめ問題、教育予算編成、子育て支援、生涯学習などそれぞれの内容について、事前に勉強会などを実施することにより情報の共有化と理解を深めることができ、教育委員会会議をスムーズに進めることができた。	
②勉強会等を通じて、今日的な課題や必要な情報が十分得られたか	B	資料・情報も事前に提供されるほか、自らも情報収集することができた。特に中学校教科書採択についての勉強会で内容を一層深めることができ、それらを基に生徒の立場にたって採択に臨むことができた。しかし、色々な視点から検討すべき重要な案件についての情報提供や議論は十分とは言えない面がある。	時間的な制約がある中、所掌する内容も多岐に亘り、ボリューム感もあることから、議論をスムーズ、且つ深掘するために、より正確で適切な情報提供に努める。
③次回の議案、テーマに関して十分な理解がなされたか	B	概ね資料は事前に理解がなされた。委員、事務局などの考え方を知り問題点や論点が明らかとなり方向性が見えた。しかし、事務連絡調整会議での次回の議案、テーマの把握は不十分であり、喫急、重要な案件で情報共有化がなされなかったことは課題である。	喫急な議案、テーマについては事前に内容確認は難しいが、年間を通して予定されている議案、テーマについては、事務連絡調整会議に計画性を持って提示することが必要で、教育委員自ら事前学習ができる環境の改善を行なうことに努める。
総合評価	B	教育委員会会議を円滑かつ効果的に運営するための会議である観点から、概ね目的に沿って実施できた。事前学習の環境づくりや時間的制約がある中で、様々な案件への対応は概ね目的に沿ってできたと考える。しかしながら、単なる事務連絡の場とならないよう、さらなる意識の改革が必要である。	

(3)意見交換会・懇談会

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

【目的】 保護者や地域の方々と直接対話することにより、子どもを取り巻く様々な課題を共有し、今後の教育行政に反映させる。			
評価項目	評価	評価の主な根拠	課題に対する改善点等
①適切な時期に必要な回数実施されたか	A	大磯町立学校PTA連絡協議会役員との懇談会のほか、小・中学校主催の地区懇談会に出席、直接対話することにより、学校関係者、保護者、地域住民の方々と子どもを取り巻く様々な課題を共有できた。PTAとの懇談については、課題等がある程度共有化されているため円滑な会議運営ができた。	前年度の課題として挙げられたPTA連絡協議会、地区懇談会の開催時期、開催方法(小中別々の開催から幼保小中共同開催)、テーマの設定等について、検討手法の明確化を図る。
②参加した懇談会等で必要な課題が適切に話し合われたか	A	3.11の東日本大震災を踏まえ、PTA懇談会、地区懇談会とも、防災体制(学校・幼稚園等における地震対策)、放射線量対策を中心に真摯に議論し、学校・保護者・地域一体となった協働体制の確認ができた。	前年度の懇談会において提示された課題を検証するとともに、現況を把握し、適切なテーマを選定し、情報の共有化により更にステップアップを目指す。
③懇談会等を通して得られた情報やご意見をその後の教育行政に生かすことができたか	B	懇談会を通じ提起された学校施設や生徒指導等での課題について、喫急な案件(プール等)について、予算取りを行なうなど計画達成に向け対処した。また、生徒指導体制について、人的配置など予算措置が必要なものもあり、十分とは言えない面があった。	教育委員会としてできることは全力をあげて対応することは勿論、地域の方々を含め町全体で考えていかなければ出来ないことがある。そのため、こまめに情報を発信し、理解を得ながら一体となった活動を継続していく。
④懇談会等により、教育委員会が住民にとって身近なものとなっているか	B	PTA連絡協議会においては、今日的な課題等についてある程度情報共有され、同じ目線での議論ができており、教育委員会は身近なものとなっている。一方、学校が主催する地区懇談会において、教育委員会としては防災体制について発信を行ったが、全体としては学校からの発信が多い。	今日的な課題を解決していくためには、教育委員会、PTA、地区が連携して取り組む必要があるが、地区に対し教育委員会等の方針等が十分伝わっていないことから、これを解消するため、強く情報の発信を行なっていく。
総合評価	B	これら懇談会は、学校施設や生徒指導等での今日的課題について参加者の意見や情報を得るよい機会なので大切にしたい。特に、東日本大震災を契機に、防災体制、放射線量対策など対処すべき事案の共有化が図られ児童生徒の安心安全対策に応えることができた。一方、提起された課題について予算等の関係で対応が不十分なところがあるほか、地区の協力を得るための強い情報発信が課題である。	

(4) 訪問(学校・幼稚園・保育園)

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

【目的】 学校・幼稚園・保育園現場を訪れることにより、現場が抱えている課題を把握し、教職員との懇談を通し、今後の教育行政に反映させる。			
評価項目	評価	評価の主な根拠	課題に対する改善点等
①学校・幼稚園・保育園の教職員と教育行政を担う教育委員とが、真摯に問題を共有できたか	B	教職員と教育委員会が直接話し合いを行い全体討議やグループ討議により意見や要望を率直に聞くことができ、共有化が図られた。また、喫急の問題については適時な訪問で問題解決に取り組めた。ただ、まだ本音でものを言いあう雰囲気は足りないように感じる。	共に課題解決に向けて歩むことが必要であり、平常時からの学校からの報告と情報共有、及び訪問による懇談を通しての課題の共有化のための体制づくりを行なう。
②学校・幼稚園・保育園訪問を通して得られた情報やご意見をその後の教育行政に生かすことができたか	A	単に意見収集に終わらず課題解決のための訪問を心がけることにより、多岐に渡る生の意見や課題、ニーズを聞くことができ、その解決に当たることができた。	主に学校施設の改善と生徒指導に係る意見に集約される。ハード面については、十分ではないが財政措置により、ある程度解決できるが、生徒指導のようなソフト面については、教職員の内面の問題や校内体制にも係わるものであり、こまめな対応を図っていく。
総合評価	A	すべての学校・園に訪問でき、喫急な案件についてはタイムリーな訪問も実施した。教職員が抱えている悩みや課題の共有化が図られ、学校現場だけでなく、教育委員会も含め全体で考え、ある程度問題解決に応えることもできた。今後は、予算措置の伴う案件についてのフィードバックなどが必要である。	

(5) 訪問(行事等)

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

【目的】 学校・幼稚園・保育園行事や教育委員会主催行事への参加をとおして、教職員、園児・児童・生徒及び地域住民と積極的に交流、意見交換することにより、各学校や地域の取り組みについての認識と理解を深める。			
評価項目	評価	評価の主な根拠	課題に対する改善点等
①教育委員が、園児・児童・生徒、保護者、地域住民と有意義な交流、意見交換が持てたか	A	授業参観などの座学、体育祭、総合学習等、児童生徒の様々なシーンに接することができ、新たな発見をすることができた。また、地域の方、児童・生徒等と学校・園を介して共通の話題で意見交換でき交流を深められ、有意義であった。	教育委員会や学校の方針を発信し、地域の方に理解していただくとともに、協力をいただけるポイントとなることから、今後も継続的に実施していきたい。
②各学校・園や地域の取り組みに関して、認識と理解を深めることができたか	A	学校・園、地域の様々な行事への参加、交流を通して各学校・園、地域の特色を生かした取り組み、子どもたちの活動を見ることができた。学校・園の雰囲気に触れるとともに、地域住民や保護者の参画など住民の関心の高さ等を感じ取ることができた。	
総合評価	A	学校・園、地域の多くの行事への参加を通して、様々な人と気軽に交流でき、学校、地域が連携して子どもたちをサポートしていること、子どもたちの可能性に接することができ有意義であった。今後も学校・園と地域との連携強化に向けてのサポートを強化していきたい。今後は、校種を超えた連携へ発展させたい。	

4 学識経験者による評価（外部評価）

【外部評価者】（敬称略、項目ごとの記述記載順：欄中○印）

氏名	所属等	備考
成田 康昭	立教大学社会学部教授	平成 21・22・23 年度外部評価者
清田 義弘	前教育委員	

【外部評価の概要】

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する上記の方々のご意見をお聞きする機会を設け、次の2点について、外部評価をお願いしました。

- ① 内部評価での評価項目や評価そのものが適正・適切であるか**（内部評価の妥当性）**
- ② 内部評価での評価項目や評価そのものが妥当性に欠ける場合や更によりよい評価活動を目指すための指針**（指導・助言）**

なお、各項目の記述については、外部評価者ごとに（○印）、順に記載しました。

(1) 教育委員会議

内部評価の妥当性について	指導・助言
<p>○教育委員会の根幹をなす事項である教育委員会議が適切に開催、運営され、審議決定機関としての機能を良好に果たしている点は評価できる。その意味で、①の教育委員会議の適切な実施および、②の適正な意思決定機関に関しての「A」評価は妥当である。また、「待機児童ゼロ化、いじめなど生徒指導面の課題」について対応し、「予算の確保もでき質的・量的にも一定の改善を図ることができた」点は高く評価でき、③の課題対応に関しての「A」評価も首肯できる。</p> <p>一方、きめ細かく実施されている保護者・地域との交流・懇談から得られた課題が、教育委員会議・教育行政に正しく反映されたかという点では、課題が残っていると記している。その意味で、④の「教育委員会議が、地域住民にとって身近なものとなっているか」についての自己評価「B」は適当である。「単に地域の方に会議が開かれているかではなく、内容がどのように反映されるかが課題である」との問題のとらえ方は適切であり、保護者・地域との間に有機的な問題の共有があってはじめて「身近なもの」としての教育委員会議は可能となると考えられる。同様に、⑤の「地域住民・学校との交流・懇談の中から得られた課題を議題として適切に対応したか」においても、</p>	<p>○今日、一部において一般的な意味で「教育委員会の形骸化」が指摘されているような状況にあっては、教育委員会議の活動と成果が広く共有されることは極めて重要である。定常的に適正な審議を行っているということだけでは、「形式的」との批判を受けることも考えられる。例えば、「いじめ」問題に関して、大磯においては、各学校においてケース毎の丁寧な対応をしていることは、公表されている教育委員会議議事録からもうかがえるが、教育委員会が問題をどのように捉え、具体的にどのように動いたのかは見えてこない。見方を変えると、毎年 9 月の教育委員会議において、文科省の「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果が報告され、ひとしきり議論はされるが、それ以上のアクションはしていないようにも見えてしまう。</p> <p>暴力・いじめ・不登校などの今日的で重要なテーマに関しては 1 回の報告や協議で終了とせず、継続協議としながら、毎回のように、教育委員会の試みや行動を見える形で示し、共有していくことも、地域や保護者との問題の共有にとって重要ではないだろうか。教育委員会議議事録にも、こうした問題においては事務連絡</p>

<p>ニーズ、課題の多様性から十分な結果を導けなかったとしており、この「B」評価も妥当である。</p> <p>そこで総合的に見えてくるのは、教育委員会が正常に機能している一方で、それが地域住民、保護者などとの関係において、必ずしも有機的かつ良好な関係を築くに至っていないということではないだろうか。このような意味での教育委員会協議の「見せ方」、地域などとの「関係の持ち方」において、なお課題が残っていることからすると、総合評価を「A」とするには疑問の余地がある。</p> <p>○教育委員会が、それぞれぞれの案件について適切に協議し、円滑に運営できたこと。各委員が目的に添って前向きに取り組んだこと。に敬意を払い評価したい。</p> <p>そのため、教育委員会が、適正な意思決定機関となっていたと考えられ評価したい。</p> <p>教育委員会が、地域住民にとって身近なものとなっているかについては、単に地域の方に会議が開かれているかではなく、内容がどのように反映されるのかが課題としているが、そのとおりと考える。B評価は妥当と考える。</p> <p>教育委員会は、地域住民・学校との交流・懇談の中から得られた課題を課題として適切に対応したかについては、ニーズ、課題が多様で各関係機関との調整、十分な予算措置に至らなかった等評価Bは妥当と考える。</p> <p>総合評価Aについては、各委員が目的に沿って前向きに、かつ真摯に取り組み、妥当と考える。</p>	<p>会議や勉強会などの機会を活用するべきであるとの発言も見られる。こうした「取り組む姿勢」が教育委員会の外部からも見えるようにしていくことが重要であろう。</p> <p>○予算については、ねばり強く行政関係機関に働きかけ必要性・重要性を理解してもらう必要がある。町長と教育委員との話し合いをしていく必要がある。</p> <p>保護者・地域住民からのニーズ、課題を把握し教育委員会へのフィードバックも行うように努めるとしているが、情報はできるだけ的確に早く伝えるべきである。</p> <p>また、大磯は、東西にのびており、どちらかというと東部での定例会が多くとられている。もう少し、西部での定例会(支所等)を設定しても良いように思う。その方が傍聴しやすいし、関心も高まると考える。24年度は子育て支援総合センターで1回行っているが、もっと西部の中心部がよいようにも思える。</p> <p>今後も、様々な緊急の課題が出てくることもあると思うが、できるだけ早く対応できるようにしていただきたい。</p>
---	---

(2)事務連絡調整会議

内部評価の妥当性について	指導・助言
<p>○各評価項目における課題の内容、評価ともほぼ前年通りである。課題が残っている以上、「B」評価はやむを得ないであろう。しかし、前年に示されていた「案件によっては別日程で開催する」との改善点は、今回の23年度事務連絡調整会議の開催一覧からみる限り、着実に実行されており</p>	<p>○事務連絡調整会議は、極めて多岐にわたる内容について情報の共有と理解を深める目的をもったものであることから、こうした内部評価方式では記述が難しい側面がある。これをこのように短く集約した形において記述するとすれば、年度毎のPDCAサイクルの中に落とし</p>

改善が見られる。これらは、積極的に内部評価に盛り込んで良いのではないだろうか。

一方、「色々な視点から検討すべき重要な案件についての情報提供や議論は十分とは言えない面がある」や、「次回の議案、テーマの把握は不十分であり、喫急、重要な案件で情報共有化がなされなかった」との記述はほぼ前年を踏襲しており、問題が年度毎の「改善」では間に合わない構造的なものであるとも考えられる。もし、事務連絡調整会議への期待が加重であり、慢性的に機能不全な部分が積み残される体制ができてしまっているとすれば、この部分がいわゆる「クリティカル・パス」ということであり、大きな問題ともいえる。少なくとも、そうした点に関する問題意識が語られていない点は疑問である。

事務連絡調整会議の機能は「次回定例会議事の内容確認」といった文字通りの目的以外に、問題の所在を多角的に検討することが求められているとすれば、満足すべき水準は際限がなくなってしまう恐れがある。したがって、「総合評価」が記しているように「単なる事務連絡の場」になっておらず、当面必要な判断を下すための検討が加えられているならば、それをもって「A」評価とするような評価基準を考えてよいのではないか。一方で、問題の性質からなお、検討が必要であるとした場合、事務連絡調整会議の外に検討チームなどを立ち上げるといった判断をすることにより、事務連絡調整会議に加重な負担がかからないような道を開く必要があるかも知れない。

○評価項目の設定は、妥当と考える。定例会後の事務調整会議のみでなく、勉強会を実施するなど積極的に対応していることに敬意を払い評価したい。

総合評価Bは、時間的な制約等で、評価項目②・③Bから妥当と考える。時間のない中で積極的に対応していただいていることに感謝したい。

込むには無理があろう。

事務連絡調整会議の正面の機能である、「教育委員会議を円滑に運営するため、事前の勉強会や次回定例会議事の内容確認等を行う」という点と、対応すべき問題次第で必要となる検討の内容も質も異なるような側面とは、同列に評価することが難しいと思われる。もちろん、後者のようなタイプの問題こそ「教育」に関わる重要な案件であろう。こうした点を鑑みて評価の方法を一考されることを期待したい。

また、活動一覧の中で示されている事務連絡調整会議の内容は、ごく簡単な議題のみであり、町民、保護者の立場から、その内容をうかがい知ることができない形になっている。当然、全てを透明化する必要はないし、不可能でもあるが、教育委員会が「何を考えているか」を知ってもらうための方法として、事務連絡調整会議で問題としたことを、選択的にわかりやすく公開していく努力をすることが望ましい。

○次回の議案、テーマに関して十分な理解については、喫急案件については、定例会後の事務調整会議では対応できない。緊急に集まる機会も必要だと考える。

今後も、単なる事務連絡の場とならないよう努力していただきたい。

(3)意見交換会・懇談会

内部評価の妥当性について	指導・助言
<p>○平成23年度の意見交換会・懇談会は、3.11の東日本大震災と原発事故の大きなインパクトを受けて、安全安心が大きなテーマとなっていたわけであるが、とくにPTA連絡協議会との懇談会では、②の課題を適切に話し合うという点で重要な機会となったといえる。記録からも真摯な議論の状況がうかがわれる。懇談会はテーマの選定が重要であるという点からも適切であり、「A」評価は妥当である。</p> <p>③の懇談会における意見を教育行政に生かすという点は、教育委員会が地域や保護者の意見・要望をくみあげる重要な機会であるが、そこで一定の具体的な成果が上げられた点は評価すべきである。「生徒指導体制について、人的配置など予算措置が必要なもの」が不十分であったとして「B」評価を付けているが、その点はむしろ厳しすぎる評価であって、単年度での成果で評価するのではなく、複数年度にまたがる取り組みと成果の形で評価するべきなのではないか。その点を明記した上で「A」評価でよかったと思われる。</p> <p>性格の異なる3つの懇談会を、同一の形で評価するには、難しさもあるが、評価項目によって自ずと評価の重点となる懇談会が絞られるような傾向もあり、当面この評価項目と形式で継続してみるのもよいと思われる。</p> <p>○評価項目①・②については、教育委員会が直接対話できる良い機会ととらえている。真摯に対応し評価Aは、妥当と考える。</p> <p>評価項目③については、プールなど努力が伺えるが、できることと、すぐにはできないものがありBは妥当と考える。評価項目④についてもBは妥当と考える。</p> <p>現状としては、総合評価Bは妥当と考える。町の財政がきびしい中、努力に感謝したい。</p>	<p>○「子どもを取り巻く様々な課題を共有し、今後の教育行政に反映させる」ための、きめ細かいアウトリーチ活動は高く評価されるべきである。ややもすると、議事次第も話題も前年を踏襲するような形になりがちであるが、今日的な生き生きとした問題の投げかけや課題を引き出すための努力は不断に行うべきである。④に学校主催の地区懇談会が、地区と教育委員会との情報共有の場となるためには、なお開催方法、情報発信の工夫が必要であると記されているように、それぞれの会の性格、参加者の層などを考慮して、最適な計画を立てて臨むことが必要である。</p> <p>○前年度に提示された課題は明確化されていないが、積極的に対応していただきたい。</p> <p>今日的な課題を解決していくためには、教育委員会、PTA、地区が連携して取り組むことは重要なことである。地区に対して教育委員会の方針等を伝えていくことが必要である。そのために地区懇談会の折りに「教育委員会基本方針」を配布するとか、工夫する必要があると考える。地区の協力を得るためにご努力いただきたい。</p>

(4) 訪問(学校・幼稚園・保育園)

内部評価の妥当性について	指導・助言
<p>○「すべての学校・園に訪問でき、喫急な案件についてはタイムリーな訪問も実施した」という点は、大磯町の教育委員会であるからこそできる、きめ細かい活動であり、高く評価されるべきである。各学校への訪問の記録をみても、具体的な細かい議論がなされており、その意味で、総合評価の「A」は妥当であるし、②の情報・意見を教育行政に生かすという点でも、学校施設、生徒指導の両面で成果が上がったことは評価でき、「A」評価は肯ける。</p> <p>唯一「B」とされた「真摯な問題共有」に関しては、全体討議とグループ討議などで意見を聞く努力にもかかわらず、まだ「本音でものを言う雰囲気」が足りない点を捉えているようであるが、これは時間をかけた信頼関係の醸成が必要であり、その意味で「改善点」として書かれていることは適切である。</p> <p>○評価項目①については、まだまだ本音でものを言い合う雰囲気が・・・とあり、Bは妥当と考える。</p> <p>評価項目②については、単に意見収集に終わらずその解決に努力されたことに感謝し、Aは妥当と考える。</p> <p>総合評価についても、Aは妥当と考える。教職員が抱えている悩みや課題の共有化ができ、解決の道筋がつけられたことに感謝したい。</p>	<p>○既に十分な成果を上げているところではあるが、学校への訪問は各校あたりでは基本的に年に一度であり、その貴重な機会において、より有機的な対話が成り立つことをめざして頂きたい。各学校との日常的な現状の把握と指導は、教育委員会事務局が中心となって担うわけであるが、その事務局の把握した情報が教育委員に細かく共有されるための努力が必要であろう。それによって、教育委員ひとりひとりが学校の状況について内在的に理解することが可能となり、各学校の現状と抱えている問題を、より深く把握した上で訪問し話し合うことができると考えられる。</p> <p>○教育委員会というと、一般に身構えることが多いように思われる。いかに本音で話す雰囲気を作れるかであろう。教育委員会各人(教育委員も含め)の雰囲気作りに掛かってくるとも考えられる。ご努力いただきたい。</p> <p>今後も、教育現場の要望を真摯に受け止め、少ない財政の中、工夫し子ども達の教育に沿えるようにあたっていただきたい。</p>

(5) 訪問(行事等)

内部評価の妥当性について	指導・助言
<p>○「学校、地域が連携して子どもたちをサポートしていること」を行事参加の目的と位置づけていることは重要である。とくに児童・生徒にとっては、教育委員会は「学校」という枠を越えて、教育する者としての地域社会を代表した存在であり、行事におけるその存在の意味は大きい。その意味で、交流の実が上がっていることは評価できる。</p>	<p>○学校訪問とは異なるアングルで得られた知見を、教育委員会内部で共有することを、当たり前のプロセスとして継続できるよう、お願いしたい。</p> <p>○忙しい中を、様々な行事に参加され有意義な活動をされたことに敬意を表すとともに、感謝したい。今後も、様々な行事に参加し、気軽な</p>

<p>○学校・園行事や教育委員会主催の行事に参加し、有意義な交流、意見交換ができていることは評価でき、妥当である。</p> <p>各学校・園や地域の取り組みに関して、認識を深めることができたかについては、「それを通して住民の関心の高さを感じ取ることができた」等評価でき、妥当である。</p>	<p>雰囲気の中で情報を収集し教育行政に活かしていただきたい。</p>
---	-------------------------------------